



第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・高校の部

審査員講評

うちやま
内山いづみ先生 (当番審査員)



本選会に参加された高校生の皆様大変お疲れ様でした。多忙な生活の中、ひたむきに音楽に向き合っているのが伝わる演奏ばかりでそれぞれの個性が光る演奏の数々でした。

課題曲について少しお話しさせていただきますね。

基本的なお勉強はとても良く出来ていると感じました。さらに完成度を上げていく為には、色々な事を考慮して内容を深めていく必要があると思います。

まずテンポ設定が適切であるかということです。曲のイメージに合っている事や、その中で自分自身が表現出来るテンポ感を選び、演奏出来ているかを客観的に聴く事は大切だと思います。アーティキュレーションも様々なパターンがありますので、表現したい意図が伝わるアーティキュレーションを選ばれると良いかと思います。

各テーマ毎のキャラクターは、場面毎に考慮された音色を選ばれて演奏する事が大切です。音色の変化を強弱だけでつけているように感じられた演奏もありましたので、そこに色味も加えられるようにタッチを吟味されてみると良いかと思いました。

タッチに関しては細かい音を刻む時の指先の感覚がゆるいと、リズムの刻みに安定感が出なくテンポ自体が崩れる原因になりますので、さらに気を配って演奏されると良いかと思います。

バッハは日々の積み重ねがとても大事です。様々な角度から曲に光を当てて、じっくり取り組む事でさらに深みが出てきますので、これからも様々な曲に挑戦して向き合っていただけましたら嬉しく思います。